



一杯の給食キャンペーン

一杯の給食キャンペーンとは、子どもたちに少なくとも一日一杯の給食を配給しようというWFP学校給食プログラムの推進キャンペーンで、給食を配給する時に用いる赤いカップをシンボルとしています。このキャンペーンを各界の著名人も応援しています。



© WFP/Rein Skullerud

知花くららさん

知花さんはWFPのオフィシャルサポーターとして活躍し、2008年4月にはアフリカのザンビアの学校でWFPの学校給食の様子を視察しました。

「ごはんが呼び水となって学校に通う子どもたちが増え、学校でたくさんいろんな事を勉強して、いつか自分の将来について目をきらきら輝かせて語るそんな日ができるだけたくさんの子供たちに訪れますように」とご自身のブログに綴っています。



© WFP/Guillaume Bonn

ドリュー・バリモアさん

ハリウッド女優のドリュー・バリモアさんは、2007年からWFPの飢餓撲滅大使として活躍。WFPの学校給食プログラムについて、「たった一杯のおかゆが子どもたちの人生を変えるのです。学校給食は子どもたちの教育、健康、未来を支えています。WFPに協力して、この子どもたちに手を差し伸べましょう。そして飢餓をこの世からなくしましょう。」と呼びかけています。

カカ選手

カカ選手は2004年にWFPの「飢餓撲滅大使」に就任。「WFPの飢餓撲滅大使として、世界の最貧国でおなかをすかせている何億人もの子どもたちを飢えさせないようにすることが、どれだけ重要でどれだけ大変なことか、世界に伝えたい。サッカーファンにはぜひ『一杯の給食キャンペーン』を応援してほしい」と話しています。



© WFP